

国立競技場にカルテックの除菌脱臭機を納入

カルテック株式会社（本社：大阪市中央区、社長：染井潤一）は、国立競技場（管理運営：独立行政法人日本スポーツ振興センター、場所：東京都新宿区）に、自社製除菌脱臭機を4月末に納入いたしました。



国立競技場

（提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター）



納入した除菌脱臭機

（機種名：KL-F01）

納入した除菌脱臭機（機種名：KL-F01）には独自の光触媒を搭載し、本体内でウイルスや菌、においなどを強力に酸化分解しキレイな空気を放出します。既売の家庭用タイプ（機種名：KL-W01）の8台分に相当する光触媒フィルターを搭載。「ターボモード」の設定により、約60畳の空間を30分（約40畳で20分、約20畳で10分）で空気を浄化します。また、天板カバーには天然竹材の素材を使用。国産木材をふんだんに使用した“木のぬくもり”が感じられる国立競技場のデザインにマッチしています。

■会社概要

社名：カルテック株式会社
代表者：染井潤一
所在地：大阪市中央区博労町3-3-7
創業：2018年4月
資本金：12,000万円
事業：光触媒原材料及び応用製品の開発、販売

光触媒で社会課題の解決に貢献したい

約10年前、出張先のスリランカで衝撃の光景を目の当たりにしました。農薬が混入した生活水を飲んで健康被害にあう子どもたちの姿でした。

「光触媒で子どもたちの命を救いたい」
これがきっかけとなりカルテックを創業しました。この日本発の技術で水や空気の浄化を通じて解決していきます。

染井潤一（そめいじゅんいち）カルテック株式会社社長：学生時代に光触媒の研究に没頭し、卒業後に大手電機メーカーに入社。衛星放送用部品をはじめ新規事業の開拓に従事。2018年3月退社後、カルテック株式会社を創業。1961年生まれ、奈良県出身。

